

松嶋 佑佳さん（岡山県倉敷市出身）
2017年度1次隊 青年海外協力隊
派遣国：モロッコ 職種：障害児・者支援
2019年4月7日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

障害児への教育手伝う

私は先日、モロッコ・タンジェでの1年9カ月の任期を終えて帰国した。国民教育職業訓練省に配属され、1年目は難聴児が通う特別支援学級で図工と体育を教え、2年目は知的障害児が通う特別支援学級のスタートアップを手伝った。ともに公立の小学校に併設されている学級である。

モロッコは、とても一言では言い表せない国だ。北アフリカであり、アラブ人とベルベル人の世界であり、欧州からの玄関口。サハラ砂漠、雪山、地中海と大西洋、農業地帯もあって、国内を1周すると漏れなくさまざまな気候を体感できる。一つの町でも、旧市街と新市街では時間の流れが全く違う。

一番感じたのは格差である。都市部の金持ちの家の子どもは私立の学校で学び、大学・大学院進学、海外留学など自己実現を果たしている（都市部の若者の失業率は40%を超え、就職先の創出は急務ではあるが）。一方、田舎の、特に女性は、私と同年齢でも学校で学んだことがない人がいる。ひたすら結婚相手が見つかるのを待つ家事手伝いをしており、村から出たことがない人も多い。そして、障害のある子どもへの教育はまだこれからだ。

日本にも、モロッコほど表面に出ていないだけで格差があるのだろうと思う。私は日本人であり日本語が話せる。当たり前のように、これはとてつもないメリットである。今後は日本の現状をもっと知り、格差是正のために何かできればと微力ながら考えている。



キャプション：
モロッコの特別支援学級で学ぶ児童たち